

【情報科学技術関連】 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化

資料2
情報科学技術委員会
(第100回) H29.8.17

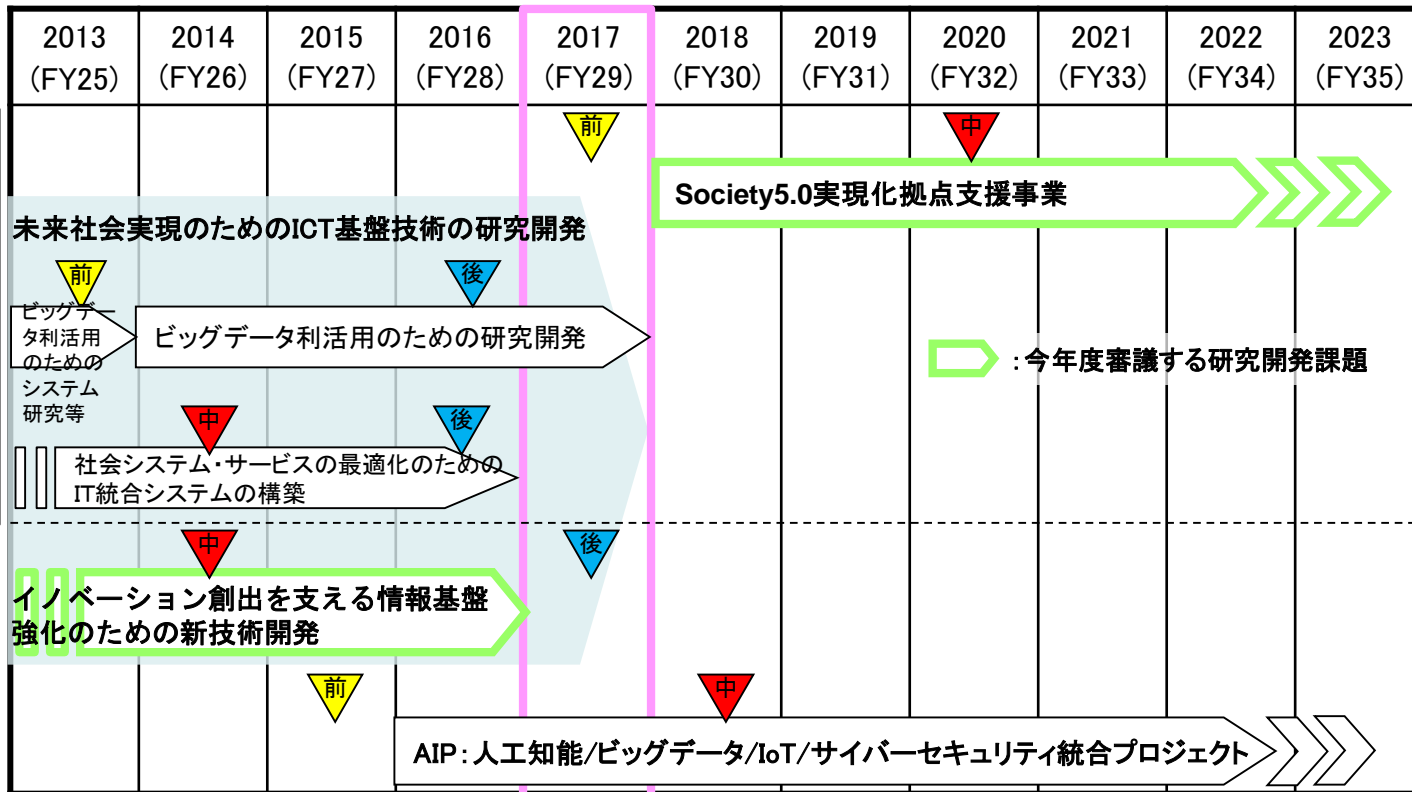
研究開発計画:

大目標

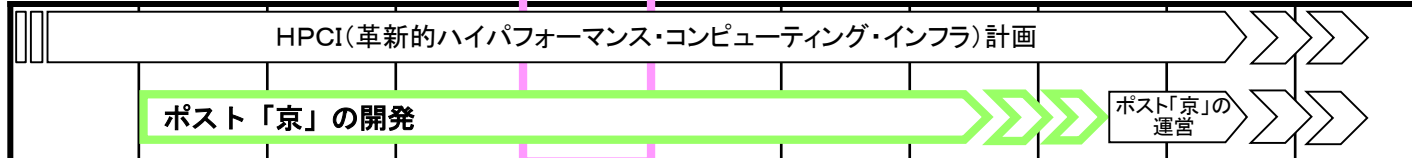
ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間(現実世界)とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。このため、国は、超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術及び個別システムにおいて新たな価値創出のコアとなり現実世界で機能する基盤技術について強化を図る。

大目標達成のために必要な中目標

我が国が世界に先駆けて超スマート社会を形成し、ビッグデータ等から付加価値を生み出していくために、産学官で協働して基礎研究から社会実装に向けた開発を行うと同時に、技術進展がもたらす社会への影響や人間及び社会の在り方に対する洞察を深めながら、中長期的視野から超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術の強化を図る。



※詳細は別紙



「世界最高水準のICT利活用社会の実現」に向けて、課題解決のための技術を確認するだけでなく、社会のあるべき姿の実現のために必要な技術のシーズを見いだすとともにその実用化を見据えた研究開発を推進し、社会実装につなげる

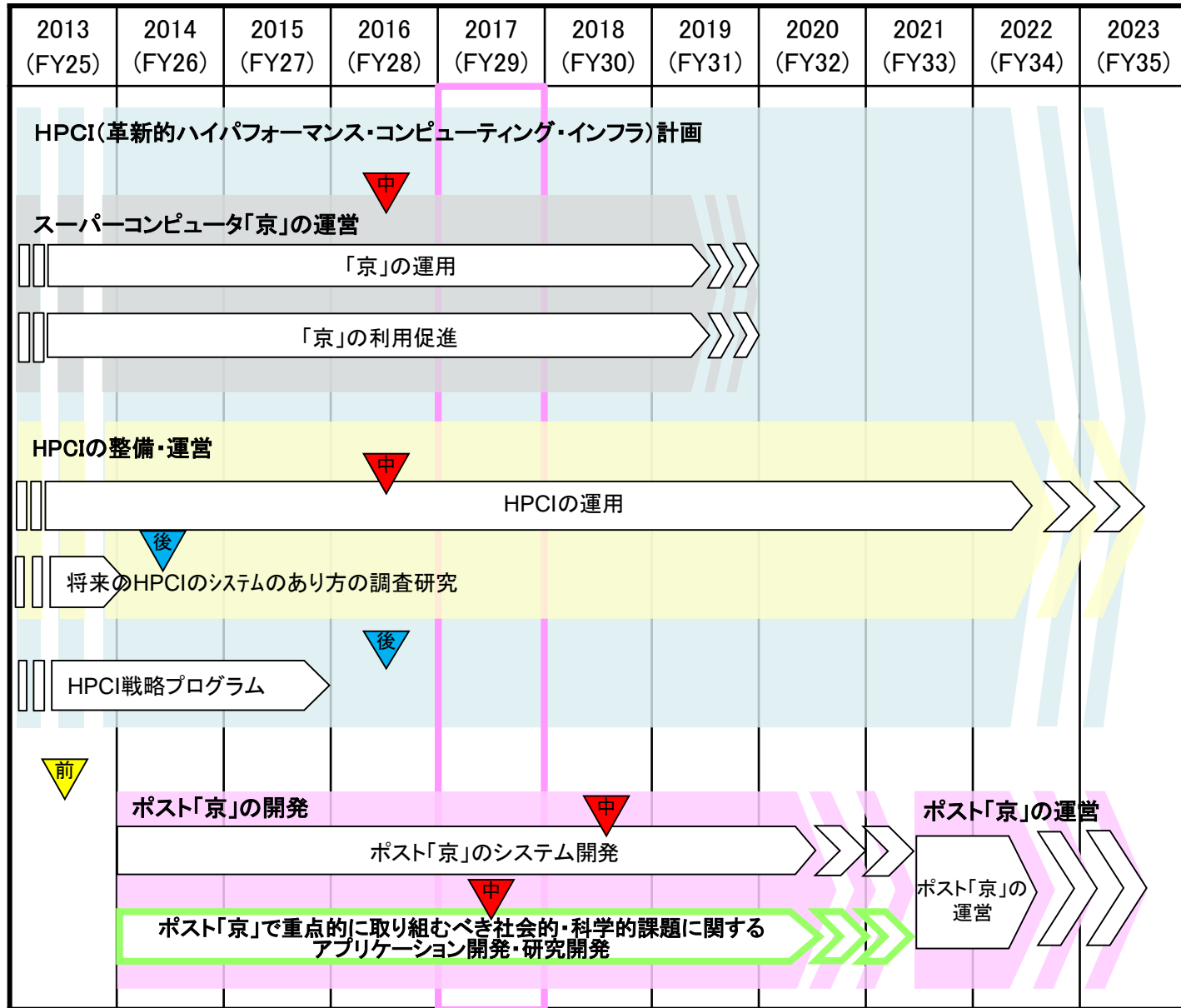
未来社会における新たな価値を創出し、そこから生まれる新たな着想を得るために、超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術の研究開発を推進し、他分野との連携を図りながら価値創出と研究開発をスパイラルに発展させる

社会システムと高度に連携したサイバーフィジカル情報システム技術の実現

未来社会における新たな価値の創出と着想の獲得に向けた研究開発の推進


▶ :今年度審議する研究開発課題

HPCI / ポスト「京」関連



未来社会における新たな価値の創出と着想の獲得に向けた研究開発の推進

多様なニーズに応える革新的な計算環境を構築し、その利用を推進

 : 今年度審議する研究開発課題